

令和4年7月24日
今週のベストショット



青松園B 奈多サンデーズ 対 ソルトベイスターズ

足でかき回すソルトベイスターズの戦術を象徴する中村（健）選手のホームスチール！

写真：和白新町パイレーツ 中島 孝志

奈多グラウンド 三苦ホーネッツ猛攻！14得点で快勝！！

三苦フレンズ（2勝3敗1分）00000 0 生野(拓)●-佐藤(由)

三苦ホーネッツ（5勝1分）7403X 14 平川○-広木

2BH：広木、西村(三苦ホ)

初回三苦ホーネッツは、三苦フレンズ打線を幸先よく三者凡退に抑えるとその裏、フレンズ先発生野投手から先頭の広木選手、竹井選手の連打と四球で無死満塁とチャンスメイク。迎えた四番隈崎選手のレフト前で先制すると、五番稲葉選手の三遊間を抜けそうなゴロをフレンズショート吉村選手が好捕し三塁で刺すファインプレー！これでホーネッツはチャンスを潰されたかに思われた。しかしこの回更にヒットを連ね、終わってみれば打者11人で大量7点を先制。二回も好調ホーネッツ打線は4点を奪い先発平川投手を強力に援護する。平川投手はフレンズ打線を被安打1、2つのWプレーで無失点に封じ込める。フレンズ先発の生野投手もホーネッツ打線の猛攻に耐えながらこの試合を一人で投げ抜くも味方のエラーなども重なり14失点。なんとか反撃をしたいフレンズ打線は最終五回に代打の切り札フレンズの落合こと小川選手、続いて吉村(成)選手を投入するもチャンスを作れず試合終了。今シーズン未だ負けなしのホーネッツが投打に本領を発揮して、自分たちペースで試合を運びフレンズに快勝した。

(記事・写真：三苦三球会 船橋 史哉)



三苦ホーネッツ先発の平川投手。



三苦フレンズ先発生野(拓)投手。



一回表、三遊間の打球をファインプレー！吉村(雄)選手。



落球するもその後落ちてアアウトを取る松田選手。



この試合3安打で先発平川投手を支えた広木選手。



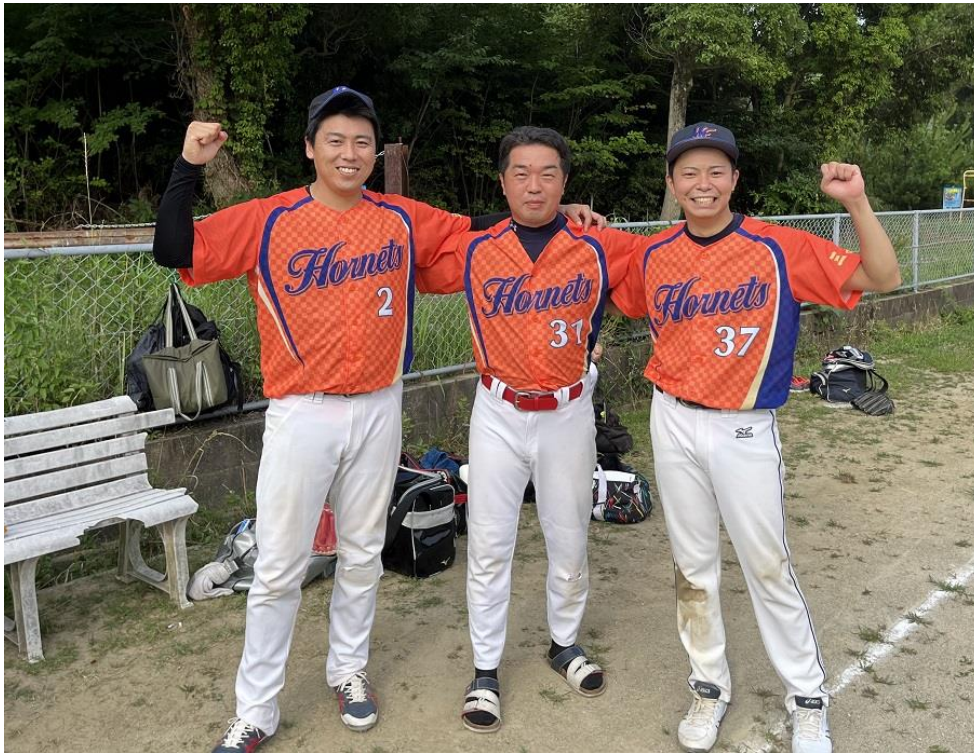
ホーネッツ代打の切り札吉留選手。



フレンズの落合博満(ロッテ時代)こと小川選手。



二人で四番をはった吉留選手(左)と隈崎選手(右)。



3安打の広木選手、ホーネットスの松中信彦こと国吉選手、打てば安打、投げては完封の平川投手。

青松園A 両投手力投。四死球の差が得点差。

新町ウインズ (1勝5敗) 001100 2 藤田●—今林

奈多フェニックス (4勝2敗) 00402X 6 今林(勇)—実延(新)

HR: 桐島(新町ウ) 2BH: 桐島(新町ウ) 吉田(奈多フ) 盗塁: 桐島(新町ウ)

雲が多く心地よい風の吹く中で、新町ウインズ先頭の永淵選手が中前へ安打を打ち試合が始まった。二番桐島選手も三塁内野安打で続き、PBと盗塁で無死二三塁となり絶好の先制機を迎える。だが、奈多フェニックス今林(勇)投手の前に後続が3三振を喫して初回に得点を挙げる事が出来なかった。しかし三回表には二打席目のウインズ桐島選手が、右中間へ豪快な本塁打を放って先制に成功する。一方フェニックスは直後の三回裏、四球と内野安打で無死一二塁の好機を作ると、三番吉田選手がバット一閃。右翼越えの二塁打を放って同点とすると、二死となって六番後藤選手が左前安打で2点を追加する。更に失策絡みで1点を加え、この回逆転に成功する。ウインズも四回表に先頭の川越選手が内野安打で出塁すると、続く泉選手の犠打がフェニックス内野陣の失策を誘う。この間に進塁を試みるも三本間の挟殺で川越選手はアウト。走者置き換わりで一死三塁となり、野中選手の犠牲フライで2点目を奪って追いかける。五回表にもウインズは永淵選手の右前安打、桐島選手の右中間二塁打で無死二三塁のチャンスを作るが、後続が続かず初回同様この得点機も逃してしまう。すると五回裏、フェニックス実延(新)選手が左前安打で出塁すると、四球とWPで三進。この好機に太田選手が左前タイムリーを放って2点を追加し試合は決した。最後に得点差が開いたが、観客は楽しめる好試合だった。

(記事: 塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真: 小金丸 賢二)



先頭打者で安打、ウインズ永淵選手。



バントを捌くフェニックス能丸三塁手。



ファインプレー！フェニックス沖遊撃手。



本塁打を放つウインズ桐島選手。



二塁打を放つフェニックス吉田選手。



ナイスキャッチ、ウインズ野中一塁手。



追撃の犠牲フライ、野中選手。



痛烈な打球を放つ実延（新）選手。



力投するウインズ藤田投手。



完投勝利、今林（勇）投手。



フェニックス今林（勇）投手と吉田捕手。



あと1打席あればサイクル？ウインズ桐島選手。

青松園B まるで忍者の機動力でソルトベ이스ターズ快勝！

奈多サンデーズ（3勝2敗1分）0000000 0 塚本●-柴田

ソルトベ이스ターズ（3勝3敗）003030× 6 江良○-山ノ川

2BH：野口（ソルト） **盗塁**：吉田2、中村健4、酒井2、荒尾（ソルト）八島（奈多サ）

一回、二回は奈多サンデーズ先発塚本投手、ソルトベ이스ターズ先発江良投手共に制球に苦しむ立ち上がりとなり、四球や失策などで両チームチャンスを作るも、あと1本が出ずに両チーム無得点で試合が進む。試合が動いたのは三回裏ソルトの攻撃。先頭の一番野口選手が技ありのレフト線二塁打で出塁すると、二番吉田選手がこの日2本目のセーフティーバントでチャンスを広げる。すかさず吉田選手は盗塁。ここで三番中村（健）選手はスクイズ。ホームクロスプレーとなるも野口選手好走塁でソルトが貴重な先制点を取る。一死後、五番酒井選手のショートゴロで吉田選手が本塁突入・・・またもクロスプレー・・・セーフ！中村選手も二盗三盗して、六番江良選手の犠牲フライでこの回3点を先制する。反撃したいサンデーズだが、三回以降尻上がりに調子上げてきた江良投手に翻弄されて初回の内野安打1本に抑えられてしまう。一方ソルトは五回にも、吉田選手の3本目のセーフティーバントから酒井選手のタイムリーや中村（健）選手がなんとホームスチールまで成功するなど3点を追加して試合を決めた。終わってみれば、ソルトは内野安打6本、盗塁9個でソフトボールの醍醐味のひとつである機

動力を存分に活かした勝利。サンデーズは盗塁を1つは刺したが、いかんせん走られ過ぎでソルトの勢いを止められなかった。各チーム、ソルトの忍者部隊は要注意ですよ！

(記事：和白新町パイレーツ 白岩 将義、写真：中島 孝志)



三回裏、ショートゴロで本塁突入する忍者①(吉田選手)。



五回裏、ホームスチールに成功する忍者②(中村健選手)。



必死に食らいつくサンデーズ佐護選手。



レフト前タイムリーを放つソルト酒井選手。



粘投するサンデーズ塚本投手。



強カサンデーズ打線を1安打完封した江良&山ノ川バッテリー。